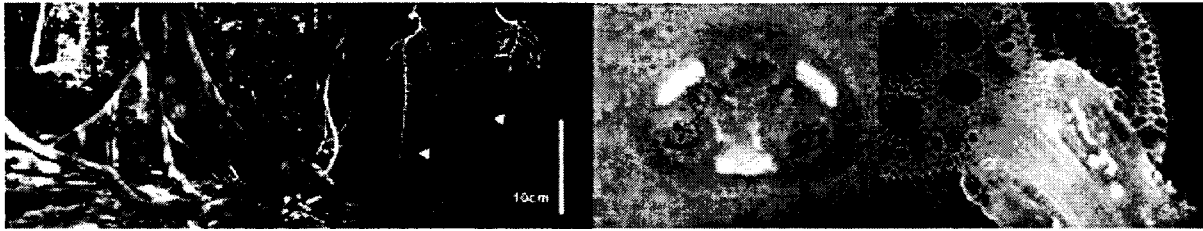


# Plant Root

New Electronic Journal for  
the Sciences on Plant Roots



## 国際誌 Plant Root 創刊のお知らせ

<http://www.plantroot.org/>

前号に掲載の総会報告でもご報告したとおり、根研究会として2007年度の早い時期に国際誌(英文誌)を刊行することになりました。総会後に、小柳会長の委嘱により、副会長の唐原一郎さんが委員長となり準備委員会を立ち上げ、実現に向けて検討を重ね、編集委員会を組織すると共に、投稿規定などの策定を行ってきました。

この度、準備が整い、専用ホームページ(<http://www.plantroot.org/>)にて全貌を明らかにするとともに、投稿原稿の受付を開始しております。会員の皆様には、まずご自身が積極的に研究成果を投稿して頂き、さらには、周辺の研究者に投稿・寄稿を呼びかけて頂きますよう、よろしくお願いいたします。

この雑誌は、財政上の理由から、紙媒体での発行は行わず、すべてホームページ上での電子媒体(PDF ファイル)での公開となりますが、世界中、誰でも無料で閲覧が可能であり、カラー写真も使うことができます。また、当面は、ボランティアで製版などの作業を行うことで経費を抑え、投稿料は無料とする予定です。内容を学術的に充実させると共に、主要な学術データベースにも順次登録を行い、メジャーな雑誌に育てていきたいと思っておりますので、会員の皆さんにも育て親として積極的に関わって頂くよう、お願いいたします。

### 誌名の選定について

準備委員会では、今年6月末に、会員の皆様のご意見を伺うためのホームページを開設し、誌名についても、いくつかの候補を挙げてアンケート調査を行いました。会誌『根の研究』では、詳しいご案内が時間的に間に合わず、前号の巻末奥付にごく簡単なお案内を載せたにとどまりましたが、会員名簿にメールアドレスをご登録頂いているかたには、電子メールにてご案内し、誌名アンケートへの協力をお願いしました。その結果、急なお願いにも関わらず、85名の皆さんから回答とコメントを頂きました。お礼申し上げます。

アンケートでは Journal of Root Research がトップでしたが、英語ネイティブの研究者にも相談するなどして準備委員会で検討したところ、Root が植物の根に限らない(神経学、コンピュータサイエンス、数学などにも Root という学術用語がある)ため、Plant をつける必要があると分かりました。

しかし、Journal of Plant Root Research では、長すぎますし、一方、Journal が付かず Plant が付く他の2候補(Plant Root Science と Plant Root)は、票を分けましたが、両者を合わせれば Journal of Root Research より得票数が多かったことなどを考慮し、準備委員会として Plant Root に決定し、小柳会長の承諾を得ました。